

謹賀新年



駐屯地からの望む日の出

撮影：佐藤3曹



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株)電子印刷センター



新年の挨拶

別府市自衛隊協力会会長

別府市長 長野 恭紘

明けましておめでとうございます。

陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科

連隊をはじめ各部隊の隊員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は別府市政及び別府市自衛隊協力会に対し格別のご厚誼を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は3年振りの開催となった別府アルゲリッチ音楽祭やべつづ鶴見岳一気登山などの恒例行事をはじめ、春の別府八湯温泉まつり、火の海まつり、秋のマーチングカーニバルな

どのイベントで大きな盛り上がりを見せました。

本年はポストコロナ元年として、経済を活性化しながら市民も観光客も皆様が幸せに、そして安心して暮らせる別府市を創り上げるために、一層の力を注いでまいります。

世界情勢においては、昨年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮によるミサイル発射回数が増加する中、緊張が続いています。また災害の大規模化など、我々を取り巻く環境が刻々と変化する中、自衛隊の果たす役割は

ますます幅広くかつ重要性を増すものと思われまます。

日々訓練を重ね、日本の安全を全力で守ってくださる皆様に心から敬意を表しますとともに、地域活動においては、マーチングカーニバルin別府への参加をはじめとして数々のご協力を賜り、市民との絆を深めていただいておりますことに感謝申し上げます。

扇山に凛とたたずむ別府駐屯地として剛健たる隊員の皆様は、我々別府市民にとって大変頼もしく心強い存在であります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、別府駐屯地及び各所在部隊のますますのご発展と、中村英昭第41普通科連隊長・別府駐屯地司令をはじめ、隊員並びにご家族の皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年の挨拶

第四十一普通科連隊長
兼 別府駐屯地司令

一等陸佐 中村 英昭

関係協力諸団体の皆様及び地域住民の皆様、隊員御家族の皆様、そして隊員諸君、新年おめでとうございます。旧年も滞りなく駐屯地の隊務が運営できたのは駐屯地隊員諸君の奮励はもちろん、これを支えていただいていた皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

世界は、欧米及び日本を中心とした民主主義陣営と中国及びロシアを中心とした権威主義陣営の対立構造が顕著化しております。特にロシアによるウクライナ侵攻は、現代においても大規模な国家間の総力戦が起り得るといふ現実が突き付けられました。国連の安全保障理事会の常任理事国であり核保有国であり資源

大国でもあるロシアに対し世界は有効な手立てを講じるどころか、ロシア側に行く国すら存在しています。

このような状況にあつて、残念ながらウクライナにおける市民を巻き添えにした悲惨な光景はなかなか終焉を迎える状況にはありません。係る状況において、自らの安全や平和を追求する努力は、怠ってはならないということを改めて認識させられました。我々は一步も引かない、譲歩しないという強い意思を堅持し、発信し続けることが極めて重要です。すなわちこれこそ「抑止力」です。この有力な抑止力が我々自衛隊です。保有する装備品を駆使し訓練に訓練を重ね我が国を守る実力を維持向

上しなければなりません。このため、駐屯地が丸となり、覚悟と執念をもって、教育訓練を断固実行します。更に国内各地では地球温暖化に起因すると見られる台風や豪雨、その他地震といった自然災害に見舞われております。このような災禍に対し、我々は平素から培っている実力をもって、地域住民の皆様を災害からお守りする、あるいはお救いすることを誓い申し上げます。

最後に人類と新型コロナウイルスとの戦いは四年目を迎えようとしています。そのウイルスの実態・実像は明らかになってきており、その対策も我々人類は理解するに至っております。したがって、これまで自粛してきた「観桜会」「山の納涼音頭大会」「創立記念行事」といった皆様との交流を深める行事を再開したいと存じますのでその際はぜひ駐屯地までお越しください。今年もお願い申し上げます。本年の皆様のご健康と御多幸を心より祈念致します。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

御挨拶

別府駐屯地業務隊長



2等陸佐 北平 栄一

明けましておめでとうございます。隊員及びご家族並びに各協力団体の皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年、業務隊は部隊・隊員に対する各種サービス、十文字原演習場の維持・管理に加え、本部庁舎の改修工事等を滞りなく行い、任務を完遂することができました。これも隊員ご家族、各協力団体をはじめとする地域の皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。本年は、各種サービスの更なる向上に努めるとともに、コロナ禍で中止となっていた駐屯地各種行事が再開できるよう最大限努力する所存です。本年が皆様にとって良い年になるようお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

第404会計隊長



3等陸佐 原島 貴男

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望と期待に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年3月着任以来、コロナ禍における制限が継続する中においても、各隊員が会計支援任務の完遂のため、自主積極、思いやりの心を持って努力を傾注し任務に邁進することが出来ました。これも地域の皆様、隊員ご家族のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。本年も隊員ひとりひとりが自衛官としても社会人としても更に成長できるよう日々、努力を継続し任務に邁進する所存です。本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第3普通科直接支援中隊長



1等陸尉 宗 鉄平

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年、中隊長に就任し、「前進」「一丸」を要望事項に掲げ、野整備支援任務を完遂すべく、恒常的な野整備支援任務における協同訓練等、任務に邁進することができました。これも地域の皆様、隊員ご家族の御理解、御支援、御協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。本年は、師団訓練検閲も控え、昨年よりもさらに各部隊の皆様と連携させていただき、中隊としても努力を結集して任務を完遂する所存です。本年も皆様にとって輝かしい一年となりますよう心から祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

結

第41普通科連隊 副連隊長



2等陸佐 三好 修二

連隊は昨年、皆様からの暖かい激励や深甚なるご支援・ご協力を頂き、任務遂行に必要な実力を養うことが出来ました。本年もあらゆる事態に即応して任務完遂するため、強靱な部隊に精進しますので、変わらぬご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。本年も皆様にとり幸多き一年でありまして、ご祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

鈍

本部管理中隊長



1等陸尉 椎屋 誠

を要望事項に任務に邁進してまいりました。コロナ禍の厳しい環境においてもするべきことは変わらず、更なる練度向上を目指して訓練を継続してまいります。各種脅威に対して勝つために何が出来るか、何をすべきかを隊員は自ら考え日々精進してまいりますので引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いたします。皆様の幸せが永遠に続きますようご祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

永

第3中隊長



3等陸佐 松永 悠平

こととお慶び申し上げます。昨年3月の着任以来、楽しく隊員と隊務を運営することが出来ました。これも協力諸団体をはじめとする地域の皆様及び隊員家族の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。我が第3中隊の個人及び隊務の充実が別府駐屯地の活性化につながり、皆様の平和で安心な生活を守る国防の充実に繋がるものと信じ本年も隊員と共に職務にまい進する所存であります。本年が皆様にとって充実した年になりますようにお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

充

第4中隊長



3等陸佐 高橋 昌平

とお慶び申し上げます。昨年12月に第四中隊長に就任し、統率方針「任務完遂」の元、隊員に対して「挑戦し創造しよう」「柔軟に修正しよう」「感謝し大切にしよう」を要望し、隊務を運営しております。刻々と厳しさを増すあらたな時代、我々の任務完遂には家族・同僚の支えや地域との繋がりは欠かせません。これらを大切にしつつ、日々訓練を重ね、皆様の負託に応えらるよう精進いたします。本年の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

魁

年男 年女 新年の抱負 (Illustration of a rabbit)

第3普通科直接支援中隊長



陸士長 前村 亜子

明けましておめでとうございます。私の今年の抱負は陸曹候補生選抜試験合格です。入隊5年目にして初めて去年の夏に受験をし、現在は結果を待っているところになります。果報は寝て待てとありますがやはり落ち着かないものです。プライベートの抱負は、貯金(脱官舎・C B R購入)と貯筋(カンガル)を目指して頑張ります。本年も何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

本部管理中隊長



陸士長 山下 祐里菜

人生2度目の年女となるこの1年は自分自身を飛躍させる期間にしたい、新年の抱負として「自己投資を惜しまない」を掲げます。健康の為に運動習慣を身につけ、たくさんの本を読んで知識を蓄えることなど、「自分がどんな人生を送っていきたいか」を考えながら、いつかどこか必ず大きなリターンが返ってくるであろうというものに大切な時間とお金と労力を使うことで、自身に投資していく1年にします。

第1中隊長



3等陸曹 山崎 勝

新年明けましておめでとうございます。私も今年で3度目の年男となり大変喜ばしい気持ちです。今年からは古くから「月」と親しみのある卯年ですので、皆様にご多幸を心より祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

第3中隊長



3等陸曹 河野 航

新年明けましておめでとうございます。今年で24歳の年になりました。年男の抱負として、去年、中隊検閲も終わりひと段落つきましたが、まだまだ反省すべき点がたくさんありました。ですので今年はその反省すべき点をしっかりと見直し次に生かせるように訓練していきたいと思っております。又、プライベートでは、キャンプを始めたこともあり先輩、後輩とさらに絆を深めることが出来ました。今年も自分らしさを充分に出して、仕事もプライベートも充実させていきたいと思っております。

第4中隊長



2等陸曹 煤田 剛礼

新年明けましておめでとうございます。今年で4度目48歳を迎えることになりました。平成5年入隊依頼、現在までやってこれたのは上司、同僚、先輩、家族とたくさんの方々に支えて頂いたおかげだと思っております。今後は、仕事は勿論の事、趣味、仲間、家族、自身の健康を大事にして行きたいと思っております。最後に支えてくださった方々に感謝し、日々を大事に、前向きに頑張っていきたいと思っております。

重迫撃砲中隊長



3等陸曹 今川 堅太

私は、昭和62年生まれで、3回目の年男を迎える事となりました。この間結婚して2人の子宝に恵まれ、守っていかねばならない責任も多くなりました。「父(夫)と自衛官の両立」を、今まで以上に積極的に仕事と向き合い良いことは自分で掴み取りに行く勢いで、何事にも前向きに臆せず取り組んでいく所存であります。

花のイラスト

新年の

第134地区警務隊 別府派遣隊長



1等陸尉 島田 貴行
 新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年3月に別府派遣隊長として着任致しました。ここ大分地区は日出生台・十文字原演習場が担区域にあり、演習部隊及び駐屯地所在部隊における各種事案の発生並びにコロナ過による行動制限等により任務遂行に多大な影響を受けつつ事案処理に追われる多忙な一年でした。本年は、各部隊が訓練等に邁進できる様、穏やかな年になる事を願い各種防犯活動を部隊と連携して実施し事案等の未然防止に寄与したいと思っております。

本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

穏

大分地域援護センター



2等陸佐 望月 英生
 明けましておめでとうございます。関係団体、協力者の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は任期制隊員の合同企業説明会開催をはじめ、皆様のご芳情、ご協力により、多くの退職隊員が新たな活躍の場への道を拓くことができました。

本年も隊員の再就職援護を通じて、地域と自衛隊との連携の一助となるよう努めて参りますので、どうか引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

拓

第304基地通信中隊 別府派遣隊長



3等陸尉 川添 佑樹
 新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は本部隊舎改修事業や基地通信部隊人員効率化をはじめ各種訓練のご協力を賜り、各部隊の皆様、隊員ご家族にも、精神を整え、知識と技能を身につけるべく『修』を日々の目標とし任務に邁進していく所存であります。

本年も皆様にとって幸多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。

修

第1中隊長



3等陸佐 伊藤 俊嗣
 新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年は、コロナと共存し、即応態勢の維持をすることも、各種練度の維持・向上が図れました。地域の皆様やご家族の皆様のご支援ご協力があったからこそと思っております。本年も中隊一丸となり地域・家族に愛される中隊になれるよう一生懸命に邁進してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

暁

第2中隊長



1等陸尉 藤原 真一
 新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、即応態勢を保持しつつFTC訓練、中隊訓練検閲等の任務を遂行することができました。特に9月は師団迫撃砲競技会優勝の輝かしい功績を残すことができ、これも平素から地域の皆様、ご家族皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も隊員がやる気に満ち溢れる煌めく中隊を目指し、各種任務に即応するとともに引き続き地域の皆様信頼される中隊であるよう日々精進していく所存であります。

本年も皆様のご健勝でご多幸でありますように心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

煌

重迫中隊長



1等陸尉 八木 義彰
 新年明けましておめでとうございます。昨年8月着任以来、「部隊一丸」・「武人たれ」を要望

事項に中隊一丸で隊務に邁進し、大過なく新年を迎えることができました。皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。

本年抱負は、何十年先も戦える部隊であり続けるために「武人たる自衛官として、古来より受け継ぎし日本人の誇りを大切に、己が正しいと信ずること（義）のために危険を顧みず責務完遂する隊員の育成」です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

義

最先任上級曹長



准陸尉 衛藤 智仁
 謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

昨年、我々別府駐屯地隊員は新型コロナウイルス感染症対策の中で、忍耐強く粛々と各種訓練・行事等を積み上げ、任務完遂できる強い部隊の育成に努めた一年でありました。

本年も引き続き、日々の平凡な事を着実に実行し与えられた責任を果たすこと及び人材の育成に尽力し、地域の方々に信頼される駐屯地となるよう励んでまいります。

本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。

人

二十歳抱負

陸士長 平原 蒼士

私は令和5年1月で二十歳を迎えます。

ここまで育ててくれた両親・兄弟・友人、すべての方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。

私の二十歳の抱負は、社会の一員として世の中に関心を持ち、自分の考えをしっかりと持ち、責任感を持って、一つ一つ取り組み、早く陸曹になれるよう頑張りたいと思います。

本部管理中隊



1等陸士 川崎 翔人
 私の二十歳の抱負は「大人になることです。二十歳という節目を迎え、大人の仲間入りをしました。1つ1つの言動に今まで以上の責任があると感じます。しかし、まだ具体的に「大人」とはどのようなことなのか理解できていません。したがってこの1年は今までお世話になった方々や、これから出会う人達から学び、早く人として自衛官として自立していきたいと思っております。

第1中隊



陸士長 中村 友哉
 私の二十歳の抱負は、誰からも信頼される大人になる事です。誰からも信頼される大人になる為に先の事を考え行動をすることです。二十歳からは飲酒や喫煙も許される年齢になります。飲酒や喫煙は1歩間違えると人の命を奪ったり、人に害を与えることもあります。マナーも守れない大人は誰からも信頼されないと私はおもいます。

第2中隊



陸士長 大森 公揮
 私は、二十歳を迎えるにあたって抱負が2つあります。

1つ目は、親孝行をする事です。ここまで育ててくれた親に感謝して、実家に帰って顔を出したり、今できる恩返しを全力でしたいと思っております。

2つ目は、後輩育成に力を入れることです。私がか先輩に教わったことや、技術、知識などを後輩に継承して、自分自身も経験を積んで自ら体験したことを後輩育成に活かしていきたいと思っております。

第3中隊



陸士長 山下 克海
 この世に生を受け、20年、晴れて私は二十歳、子供から大人へと同等の立場となる。

これまでの与えられた側からこれからは与える側となり、それは同時に次の時代を創る役目を担う事だと考えている。

志した信念から憚ることなく、初心を忘れずに、両親そしてこれまでのすべての人のへの感謝を胸に刻み、謙虚の心を持って社会に貢献したいと思う。

第4中隊



陸士長 甲斐 楓佳
 今年、無事二十歳を迎え大人の仲間入りをすることが出来ました。二十歳を迎えるにあたって一社会人としても一自衛官としても新たに多くの知識・技能を学び戦力となり、貢献できるようスキルアップをしたいと考えております。

その為に私は、これまで身につけてきた事を活かし新しい事へ積極的に挑戦していきたいと考えています。これからも多くの方に支援をいただきながら周りへの感謝の気持ちを忘れずに勤務していきたいと思っております。

重迫撃砲中隊



陸士長 麻 泰駿
 家族や、今まで支えてきてくださった方々のおかげで、無事二十歳を迎えることが出来ました。二十歳を迎えたという事で、私の抱負を述べたいと思います。

私の二十歳の抱負は、しっかりと自立するということです。私は、精神面や生活面においても、まだまだ未熟な所があるので、生活を見直したり、周りにもっと気を配ったりするなど、心がけて、立派な大人になれるように頑張りたいと思います。

第404会計隊



陸士長 麻 泰駿
 家族や、今まで支えてきてくださった方々のおかげで、無事二十歳を迎えることが出来ました。二十歳を迎えたという事で、私の抱負を述べたいと思います。

私の二十歳の抱負は、しっかりと自立するということです。私は、精神面や生活面においても、まだまだ未熟な所があるので、生活を見直したり、周りにもっと気を配ったりするなど、心がけて、立派な大人になれるように頑張りたいと思います。

別府駐屯地 Twitter 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式)フォロー



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

第2次連隊練成訓練 第4中隊訓練検閲



第4中隊



中継業務



火力要求



攻撃



徒步行進

連隊は、令和4年10月14日(金)から17日(月)までの間、別府駐屯地周辺及び日出生台演習場において第4中隊の訓練検閲を実施した。本訓練検閲は、徒步行進に引き続き前衛中隊の行動を検して、その進歩向上を促す事を目的として行った。

14日(金)、別府駐屯地グラウンドで行われた訓練開始式では、第41普通科連隊長 中村英昭 1等陸佐が「手段を尽くして当面の敵を撃破せよ」と要望事項を述べ、各隊員は真剣な眼差しで聞き入っていた。

同日、正午過ぎから始まった徒步行進では、約40kmの起伏の激しい行程を一昼夜にわたり行進し全隊員が完歩した。

15日(土)集結地に進入した各小隊は行動地域を安全化し、その後、速やかに攻撃準備を整え同日の夕方から敵警戒部隊の駆逐のため攻撃を開始した。攻撃開始後は、各小隊があらゆる手段を尽くして連携し敵情を逐次共有しながら、敵警戒部隊へ先行的な火力を發揮し損害を与えた。特に夜間攻撃では暗夜に乘じ、地形を利用した近接戦闘で多大な損害を与えた。

本訓練検閲に通信陸曹として参加し優秀隊員にも輝いた 城戸健吾 2等陸曹は「攻撃間の通信の維持が非常に難しかったが、正確な中継業務を実施し、中隊に貢献できて良かった。今後も練成に励みます。」と述べた。

第4中隊は、日頃の成果を十分に発揮し訓練検閲を終えた。今後も更なる練度向上を目指し訓練に邁進していく。

第3次連隊練成訓練 第1中隊・第3中隊訓練検閲



第1中隊



第3中隊

連隊は、令和4年11月24日(木)から27日(日)までの間、日出生台演習場において第1中隊及び第3中隊の訓練検閲を実施した。本訓練は徒步行進に引き続き警戒部隊の駆逐及び主陣地攻撃の一連の行動を検する目的で行われた。

24日(木)、日出生台演習場において訓練前の隊容検査が行われ、各隊員の任務の理解や戦闘間における基礎的動作を質疑応答、または動作の確認等を行った。

気温が下がり始めた夕刻より約40kmにわたる徒步行進を行い明け方に集結地へ到着した。各中隊は行動地域の安全を確認し、26日(土)未明から敵警戒部隊の駆逐のため攻撃を開始した。不意襲撃的に現れる敵を火力と機動力をもって撃破し攻撃は深夜にわたり続けられ、翌朝敵の主陣地を攻撃し、目標奪取に成功した。

第3中隊の第1小隊2分隊長として参加をしていた3等陸曹 樋口達也は「光を最小限にして夜間攻撃に臨んだが、攻撃成功には事前の作戦、予行等がいかに重要なのかを感じた。更に練度を重ねていきたい」と述べていた。



対空戦闘



地域の安全化



攻撃



狙撃

新年あけましておめでとうございます

第142期陸曹候補生履修前教育(共通・特技)

連隊は令和4年10月31日(月)から11月25日(金)までの間、第142期陸曹候補生履修前教育(共通・特技)を行った。この教育は陸曹になる為の陸曹候補生選抜試験で合格した陸士隊員に対し行われる教育で共通教育・特技教育とあり、陸曹教育隊入校前に基礎体力の向上、教育訓練などの指導法を学ぶことを目的として行われている。

共通教育では陸曹としての各種訓練における指導法を学び、今回は射撃訓練等の指導法を行った。教育が終わると隊員の間で指導法の反省点などの意見が飛び交っていた。また戦闘訓練では分隊長としての命令・指揮能力の向上に励んでいた。

特技教育では、各職種の分隊長としての知識・技能の向上を目的として行われ、その中でも120M重迫撃砲を取り扱う隊員は操法訓練を後輩隊員に教える為に自ら操砲のプロとなるべく、迅速・精密な照準操作に日夜励んでいた。

この教育を終えた陸士隊員は令和5年1月より陸曹としての知識・技能・体力を身に付ける為に日本各地の陸曹教育隊へと入校する。



指導法(射撃予習)



体力検定



操砲訓練



命令下達

小部隊訓練

連隊は令和4年11月17日及び18日に小部隊対抗訓練を行った。この訓練は赤外線を利用したレーザー交戦用訓練装置(通称パトラ)を使用し、隊員に疑似的な損耗を付与し実戦下のような緊迫した中で隊員の近接戦闘能力の向上を目的として行われた。

防衛部隊は敵の接近経路を想定し綿密な調整のもと鉄条網を張り巡らせ堅牢な防衛陣地を構築し敵を待ち受けていた。また、攻撃部隊は昼間に敵の防衛陣地の位置や攻撃前進経路の偵察を実施し、攻撃準備を行っていた。夕刻に攻撃が開始され火力と機動力をもって目標に向け前進した。夜間になると隊員は周囲を確認できる暗視装置を装着し暗闇における戦闘を繰り広げ訓練は終了した。

昼夜問わず部隊は訓練に邁進し、更なる練度向上に努めてゆく。



障害構成



命令下達



戦闘行動



偵察

第2次教育訓練基盤構築

連隊は十文字原演習場において演習場定期整備から名を改められた教育訓練基盤構築において、各級指揮官が指揮して道路の整地や、側溝等の演習場整備を行った。

この間連隊の一部をもって化学兵器によって汚染された地域を想定しての戦後復旧訓練を実施した。当初、偵察用ドローンによる上空偵察を行い地域の把握や敵の有無を確認後、化学兵器に汚染されないように気密性の高い化学防護衣を身に纏った除染班による地域の除染を行った。また、衛生科部隊等とも連携を図り戦場で負傷した民間人の救護や車両整備部隊が保有する車両に搭載されたクレーンを用いて道路に残置された軍用車両の撤去など自衛隊の様々な職種が連携し円滑かつ安全に留意し復旧作業を完了し、本訓練を終了した。



車両撤去



救護



除染作業

新年あけましておめでとうございます

別府駐屯地 Twitter 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊

各部(中)隊対抗のフリースロー大会

別府駐屯地は令和4年12月21日(水)22日(木)の2日間、厚生活動として、各部(中)隊対抗のフリースロー大会を行った。

この大会は、隊員の融和団結と部隊の対抗心を醸成するとともに一年の労を労うため、毎年この時期に競技種目を変えながら行っている。駐屯地司令 中村英昭 一等陸佐 要望である「努めて多くの隊員を参加させよ。」を各部隊周知し、12月下旬より開始された新隊員教育隊の学生並びに助教等も参加した。

競技内容はバスケットコートに示された地点よりフリースローを行い、総合得点の多い部(中)隊の上位3位までを表彰とした。各部隊は「近距離から少ない点数を確実に狙うか、遠距離から多い点数を狙うか」について他部隊の点数状況を把握しつつ監督に指示を受け、一人3回のスローチャンスを加点に繋げるため熱心に投擲し白熱した大会となった。

コロナウィルス感染防止のため大声での声援は出来なかったが拍手による応援を実施し特に最終投擲者は部(中)隊の長もしくは幹部としていたため投擲ごとに盛大な拍手が起きており、各部(中)隊の融和団結とともにこの一年の訓練等の激務を癒す事が出来た。

結果については、優勝第2中隊、準優勝別府駐屯地業務隊、第3位第404会計隊・第304基地通信隊合同チームとなった。競技もスムーズに進行し、各隊員の負傷事案も無く年末の有意義な時間を過ごす事が出来た。今後も隊員のニーズに対応出来るよう、業務隊長要望事項である「凡事徹底・創意工夫」を旨に駐屯地業務隊厚生科として隊務に邁進する。



表彰

狙いを定める隊員

第404会計隊

令和4年度西部方面会計隊持続走競技会

令和4年10月29・30日に健康駐屯地東訓練場にて、西部方面会計隊持続走競技会が実施されました。

種目は幹部一名を含むAグループと、女性自衛官2名を含む混成Bグループがそれぞれ5区間で競う駅伝に10名が、また、駅伝選手及び駅伝以外の選手が個々に競う3,000メートル走に参加しました。

日々持続走競技会に向けて会計業務の合間にインターバル走やタイムレース等、厳しい練習メニューを実施しつつ本番に臨みました。前回優勝会計隊として、開会式では、前田優季 士長が選手宣誓を実施しました。結果は、Aグループが13個チーム中で準優勝、Bグループも7個チーム中で準優勝という成績でした。

Aグループ、Bグループともに準優勝と優勝にあと一歩でしたが全員持てる力を十分発揮出来たと思います。その中でも前田優季 士長は女性自衛官で第1位、駅伝では区間賞と最高の成績を収めました。

これからも自衛官として体力・気力を維持・向上させるため、来年度の競技会に向けての練習を継続して行こうと思います。



入賞隊員

選手宣誓

第3普通科直接支援中隊

第4回中隊訓練

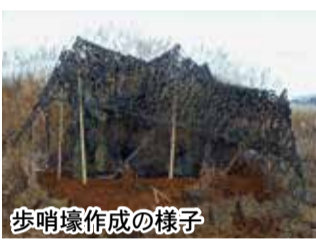
第3普通科直接支援中隊は、11月24日から27日までの間、第3回連隊練成訓練の場において中隊訓練を行いました。今訓練は、補給処の開設・維持運営及び41連隊の戦況に応じた支援施設の推進に対する練度向上を目的とした訓練を実施しています。

具体的には、補給処内における連携要領及び補給所推進に関する指揮幕僚活動能力の向上や、基本基礎については、支援施設の開設・施設推進及び小銃の保持・操作要領について演練しました。それぞれの目標に対し、中隊として練度を向上し、目的を達成することができました。

引き続き状況下における部隊及び隊員の練度向上に努め、連隊に対する支援任務を完遂できる様、邁進していきます。



中隊長による状況説明



歩哨壕作成の様子

大分地方協力本部 大分地域援護センター

令和4年度大分県任期制隊員合同企業説明会

大分地本及び一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部は10月11日、レンブラントホテル大分において2年振りに「令和4年度大分県任期制隊員合同企業説明会」を主催した。自衛隊側からは県内外の陸海空各部隊から来春退職予定の任期制隊員20名が参加、又大分県内外から隊員のニーズにより選考された雇用協力企業四十八社を招聘し、限られた時間の中で各隊員は希望する企業と面談した。会場内の各ブースでは隊員が企業側の説明に熱心に耳を傾け、又質問する等活発なやり取りを展開していた。最後に企業が退職自衛官に期待している要素は「礼儀正しさ」「誠実さ」「元気の良さ」が首位を占めている事を念頭に置き自衛隊勤務で培った「自衛官らしさ」を發揮し、「自衛官を雇って良かった」と言われる様に成る事が今後の円滑な援護活動に繋がります。センタースタッフ一同、尽力して参る所存です。引き続きの御協力をお願い致します。



会場



説明を受ける隊員

第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の現況

警務隊は、令和4年12月4日(日)大分市内のJ・COMホール大分大分で実施された令和4年度西部方面音楽隊巡回演奏会に伴う保安業務を実施した。支援としては、先の元内閣総理大臣襲撃事件に鑑み、事前の調整・計画に万難を排し、岩屋議員の警護を行うとともに、会場内の巡回警備等も併せて実施し演奏会の整齊円滑な進行に寄与した。

また、令和4年12月14日(水)から23日(金)の間、年始休暇に伴う防犯活動を実施した。重視事項として、大麻等薬物犯罪の防止と飲酒運転の根絶を掲げ、各部隊等に対して防犯資料の配布、防犯巡察及び防犯犯言を行い防犯意識の高揚に努めた。今後も部隊の協力を得て実施していきたい。



要人警護の状況

第304基地通信中隊 別府派遣隊

令和4年度射撃競技会

第304基地通信中隊は、令和4年度射撃競技会を4月18日から12月10日までの間、9回に分け福岡射場及び曾根射場を使用して実施した。中隊本部と隷下派遣隊を含む12個隊で各所属の基本射撃点数の平均点数をもって順位を決定した。別府派遣隊においては、参加射手10名の平均37.9点で2位に1.1点の近差で優勝することができた。年度当初から射撃予習訓練時には、一発必中の精神で、これまで積み上げてきた成果を發揮することができた。



射撃競技会の様子



狙いを定める隊員

今後も、各人の射撃能力の向上を図り、隊として団結を強化し、競技会を通して学んだことを隊務運営に生かし、あらゆる任務に邁進していきます。

新年あけましておめでとうございます

第41回大分国際車いすマラソン大会支援

連隊は、令和4年11月20日(日)大分市で行われた第41回大分国際車いすマラソン大会において支援隊長 第41普通科連隊本部管理中隊長 椎屋誠 1等陸尉の指揮のもと、隊員約80名が生活用・競技用の車いすの輸送及び報道関係者の撮影支援を行った。

大会は、3年ぶりに海外からの一般参加者も参加可能となり昨年より大会参加者も増えて車いすの台数も増えたが、安全・確実にボランティアの方々を掛け合いながら円滑に選手の手を車いすの輸送を行った。コース上では自衛隊の保有する高機動車に報道関係者の方々が乗車しレースの中間車として支援を行った。表彰式では第41普通科連隊長 中村英昭 1等陸佐がハーフマラソン女子の部でプレゼンターを務め、メダルの授与を行い選手の健闘を称え大会は無事幕を閉じた。部隊は全ての任務を終了した。



車いす輸送支援



報道支援



乗車支援

令和4年度連隊銃剣道新人戦

第41普通科連隊及び第3直接支援中隊は令和4年12月23日(金)に、今年度新配置された隊員を対象に連隊銃剣道新人戦を開催した。

この大会は銃剣道訓練隊における若年隊員の発掘・育成を目的とし執り行われた。練成は約1ヶ月と短い期間で当初は防具の着け方さえも分からない状態であったが各中隊の銃剣道経験者のもと、基本技を学び練成に励んでいた。

大会当日は各中隊の隊員が見守る中、緊張した様子を見せていたが試合が始まると、気迫のこもった声と同時に繰り出される「刺突」で白熱の試合を繰り広げていた。また女性自衛官も参加し大会を盛り上げていた。この大会を通じ才能を見出した隊員は今後連隊の銃剣道訓練隊に参加し更なる練度向上に努め、銃剣道剣士としても活躍の場を広げてゆく。



白熱の試合



女性自衛官も参加



表彰

着任 中隊長

離任 中隊長



3等陸佐 高橋 昌平



3等陸佐 佐藤 達紀

離着任 部隊長紹介

異動者紹介

- 転出者**
- 連隊本部から (1名)
 - 1等陸尉 高橋 靖弘 西部方面総監部人事部援護業務課(健軍)
 - 第4中隊から (1名)
 - 3等陸佐 佐藤 達紀 陸幕監理部総務課(市ヶ谷)
 - 転入者
 - 第4中隊へ (1名)
 - 3等陸佐 高橋 昌平 教育訓練研究本部付(目黒)

定年退官者紹介

- 永年にわたる勤務 おつかれさまでした
- (10月1日付) 第41普通科連隊 第2中隊 3等陸尉 牧瀬 英樹
 - (10月3日付) 第41普通科連隊 重迫撃砲中隊 3等陸尉 河野 健児
 - (11月2日付) 別府駐屯地業務隊 2等陸佐 舟木 正男
 - (11月5日付) 別府駐屯地業務隊 陸曹長 小山 二郎
 - (11月23日付) 第41普通科連隊 重迫撃砲中隊 陸曹長 藤原 寛
 - (11月28日付) 第41普通科連隊 第3中隊 陸曹長 内河野 景市
 - (12月11日付) 第41普通科連隊 連隊本部 3等陸尉 坂本 清伸
 - (12月11日付) 第41普通科連隊 本部管理中隊 陸曹長 出水 透
 - (12月27日付) 第41普通科連隊 本部管理中隊 3等陸尉 徳丸 竜太
 - (12月27日付) 別府駐屯地業務隊 陸曹長 南 繁
 - (12月30日付) 別府駐屯地業務隊 陸曹長 南 繁

調印式



第41回大分国際車いすマラソン



第71回別府大分毎日マラソン大会

新年あけましておめでとうございます

別府駐屯地 Twitter 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー

